

西日本総合福祉株式会社のSDGsへの取り組み

西日本総合福祉株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

Sustainable Development Goals

SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



西日本総合福祉株式会社の実践しているSDGsへの取り組み(活動)

①利用者の健康と安心した医療・福祉サービスが受けられるよう質の高い医療・介護サービスを提供。
★デイサービスセンター元気の里(元気グループフランチャイズパッケージ)では、機能訓練、物理療法、運動療法を用いて、自立支援特化型のデイサービスを提供。
★訪問看護ステーション元気では、病気や障害を持っていても自宅で家族と一緒に生活し同じ時間を共有できる幸せを持続できるサービスを提供。

②働き方改革によるジェンダー平等の実現

★個人能力を重視したジェンダー平等による人事評価を導入。全職員の2/3以上が女性であり、女性社員の積極的な役員登用(女性役員が2/3以上)を実施。

③持続可能なエネルギー生産

★太陽光発電部門及び自社施設への太陽光発電システム設置にて、環境に配慮した持続可能なエネルギー生産に積極的に取り組む。